

**一般社団法人 日本脊椎脊髄病学会**  
**平成 28 年度 第 2 回プロジェクト委員会**  
**議事録**

日 時 : 平成 28 年 4 月 15 日 ( 金 ) 午前 7 時 30 分 ~ 8 時 10 分  
場 所 : 幕張メッセ国際会議場 1F 104 会議室  
( 第 45 回日本脊椎脊髄病学会会場 )

出席者 : 吉田宗人 ( 理事 )、山下敏彦 ( 委員長 )、高橋和久 ( アドバイザー )、  
種市 洋、松山幸弘、波呂浩孝、川上 守、西田康太郎、今釜史郎、海渡貴司、  
井上 玄

以上、11 名

欠席者 : 持田讓治 ( アドバイザー )、田倉智之、伊東 学、宮腰尚久、

以上、4 名

**【 議 事 】**

1. 海渡先生より同日のパネルディスカッションで講演する内容について説明  
218 例を解析した結果に対する説明があった。JOA-BPEQ の獲得量に薬剤の特性が現れている。VAS、JOA スコア、EQ-5D は 6 か月でそれぞれ 7mm、1.6 点、0.017 改善。高齢者は投薬中の腎機能のチェックが望ましい可能性。満足度は 7 割の患者で得られた。MCID を使用した解析では椎体骨折があると VAS の改善が妨げられる結果が得られた。
2. 山下先生より今回のパネルディスカッションで講演する内容について説明。  
心因性のものに関して解析。BS-POP(患者用)15 点以上が 28.1%、CES-D 16 点以上が 35.7%であった。慢性腰痛の約 3 割で心因性因子の関与が疑われた。心因性の要素が強い患者の方が疼痛改善の効果が得やすい。診察時間は平均で 18 分以上を要していた。診察時間が長いほど VAS が改善する傾向。診察時間に応じた診療報酬の加算、集学的治療に対する加算を提言したい。

上記に関する各委員の意見

高橋先生：今回の研究における利益相反に関して、論文で公表するまでに確認した方が望ましいのではないかと。

EQ-5Dの改善は有意か？ 有意と考えられる（海渡先生）。

最終解析が終了するのはいつ頃か？ 登録期間が昨年12月末なので、今年中が目処か（海渡先生）。

川上先生：改善の有無をVAS15mmで定義しているが、小さすぎないか？

最近の論文のVASのMCIDは15mmであり妥当と考える（高橋先生）。

VASがもう少し大きく振れた症例での解析は症例数が現在少ないため、症例数が増えた最終解析の際に検討する（海渡先生）。

### 3. 次回の委員会日程に関して

日時：平成28年5月12日（木）

午前11時30分～午前8時50分

場所：パシフィコ横浜 4階 会議室422

〒220-0012

神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1

TEL:045-221-2155(代)

文責：井上 玄